

令和元年度 白川小学校経営の概要について

校長 三谷 武治

<はじめに>

本校は、亀山市の北西部に位置し、校歌に歌われる明星ヶ岳を望みながら、椋川、前田川の流れるのどかな田園地帯を抱え、古くからの豊かな自然に囲まれた場所にある。現在児童数 42 名の小規模校である。白木地区と小川地区とを合わせて白川地区と称し、校名の由来ともなっている。まちづくり協議会・学校運営協議会を中心に、地域が一丸となって自治的活動に取り組み、地域と一体となった運動会や夏祭りの運営など学校を支えていこうというあたたかい意識につつまれた地域である。

昭和 29 年に現在の木造校舎 2 棟が建設され、平成 21 年 8 月には、国登録有形文化財に登録指定された。平成 24 年より足かけ 3 年かけての耐震工事も終了し、創建当時の面影が再びよみがえってきている。

このような状況の中で、子どもたちには自然の恵みを体いっぱいを受け、自分たちの故郷である白川地区の良さを共有するとともに、多くの先人が創り上げてきた白川の伝統・文化を継承して行ってほしいと考えている。そして、この地域に生まれ育っているという自信と誇りを育みたいと考えている。

また、本校では、平成 15 年度より市内で唯一、小規模特認校制度が本格実施されている。校区外の児童も前述のような白川の環境や小規模ならではの数多くの体験活動、きめ細やかな学習への取り組みなどに期待を寄せて本制度の活用を望むご家庭もある。現在 14 名の児童がこの制度により、登校している。地域の伝統を大切にするとともに、新しい考えも取り入れ、体験活動と確かな学力のバランスの取れた育成を目指し、より良い雰囲気醸し出す小学校を目指していきたい。

<学校経営のねらい>

- (1) 子どもの学習や生活全体にゆとりを持たせ、子どもが主体的に活動できる時間を確保する。家庭・地域・学校が双方向に連携しながら、豊富な自然体験、社会体験を通して、自ら学び考える力や心豊かな人間性を育む。【徳育】
- (2) 一人ひとりの子どもの目を向け、基礎・基本の定着と個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、主体的に学習に取り組み考える子どもを育む。【知育】
- (3) 豊かな自然に囲まれながら、地域を愛する心身共に健康な子どもを育む。【体育】
- (4) 豊かな体験活動を通して、まとめ、発表し、表現する力を育む。



入学式



なかよし班給食



なかよし班交流